秋の講習 | １日20語 × ５日間

古文単語100

意味を知る。選んで確かめる。自分で書いて覚える。

短い例文で、
古文の言葉を自分のものに。

１日の流れ

20語の一覧 → ４択ドリルＡ・20問 → 例文ドリルＢ・20問
→ 意味を書くチェックテスト・20問

覚える	選ぶ	書く
古語・現代語訳 解説・例文と訳	同じ20語を２周 単語 → 例文	選択肢を見ずに 意味を思い出す

毎日20語、５日間で100語。
間違えた単語こそ、その日に覚えるチャンスです。

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

英心うえの塾

提供された100語の番号・配列をもとに構成。
解説と短い例文は、この教材のために作成しています。

１日20語を、４回思い出す

４回の出会いを、暗記につなげる

① 一覧を声に出す。 ② ドリルＡで意味を選ぶ。
③ ドリルＢで例文の意味を選ぶ。 ④ テストで自分で書く。
選ぶだけで終わらず、正解の意味を口でも言いましょう。

日	範囲	一覧	ドリルＡ／Ｂ	テスト
１日目	001〜020	3〜4	5／6〜7	8
２日目	021〜040	9〜10	11／12〜13	14
３日目	041〜060	15〜16	17／18〜19	20
４日目	061〜080	21〜22	23／24〜25	26
５日目	081〜100	27〜28	29／30〜31	32

一覧の「中心の意味」は、最初に覚える意味です。「ほか」の意味も確認します。ドリルＡでは中心の意味を、ドリルＢ・テストでは例文に合う意味を答えます。例文の下線が、今回覚える古語です。

例文中では、古語の形が変わることがあります。例：「失す」→「うせ」。テストは単語の意味を確かめるものなので、活用する前の形で答えてもかまいません。「年ごと」「年ごろ」「夜もすがら」は、まとまり全体の訳でも正解です。

記録	学習日	ドリルＡ	ドリルＢ	テスト
1日目	月 日	／20	／20	／100
2日目	月 日	／20	／20	／100
3日目	月 日	／20	／20	／100
4日目	月 日	／20	／20	／100
5日目	月 日	／20	／20	／100

テストは各５点・100点満点。目標は80点以上、その後の解き直しで100点。
次の日は、前日に間違えた語を先に口頭で確認しましょう。

1日目　今日の20語

範囲 001〜020 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
001 あからさまなり	中心の意味：一時的だ ほか：急だ	「ほんのしばらく」が基本。現代語の「露骨だ」と区別。	あからさまに家に帰る。 訳：ほんのしばらく家に帰る。
002 あく（飽く）	中心の意味：満足する ほか：嫌になる・飽きる	心がいっぱいになる。満足にも、飽きにもつながる。	花を見て、心あく。 訳：花を見て、心が満足する。
003 あさまし	中心の意味：驚きあきれる ほか：情けない・ひどい	予想外のことにびっくり。悪い意味になることが多い。	宝を盗むとは、あさまし。 訳：宝を盗むとは、驚きあきれる。
004 あだなり	中心の意味：はかない ほか：不誠実だ	「徒」の字を手がかりに、長続きしない感じをつかむ。	花はすぐ散りて、あだなり。 訳：花はすぐに散って、はかない。
005 あたらし	中心の意味：惜しい ほか：新しい	失うのがもったいない。文脈によって「新しい」もある。	この花の散るは、あたらし。 訳：この花が散るのは、惜しい。
006 あながちなり	中心の意味：強引だ ほか：無理やりだ・ひたむきだ	相手の都合より、自分の思いを押し通す感じ。	嫌がる人をあながちに誘ふ。 訳：嫌がる人を無理やり誘う。
007 あはれ	中心の意味：しみじみとした趣 ほか：寂しさ・情け・感動	心にじんとしみる気持ち。悲しさだけに限らない。	秋の夕べは、あはれなり。 訳：秋の夕暮れには、しみじみとした趣がある。
008 あふ	中心の意味：会う ほか：合う・結婚する	人との出会いが基本。男女なら結婚の意味も考える。	道にて友にあふ。 訳：道で友に会う。
009 あまた	中心の意味：たくさん ほか：非常に	数が多い。「数多」と書く。	星、あまた見ゆ。 訳：星がたくさん見える。
010 あやし	中心の意味：不思議だ ほか：変だ・身分が低い・粗末だ	「変だな」と感じる場合と、身分・質が低い場合がある。	夜に光る石は、あやし。 訳：夜に光る石は、不思議だ。

確認 □ 意味を声に出した □ 例文を読んだ □ 右側を隠して意味を言えた

1日目　今日の20語

範囲 001〜020 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
011 ありがたし	中心の意味：めずらしい ほか：めったにない・すばらしい	「有り難し」＝あるのが難しいほど、めったにない。	百年に一度の花は、ありがたし。 訳：百年に一度の花は、めずらしい。
012 ありく	中心の意味：歩き回る ほか：出歩く・動き回る	一か所にとどまらず、あちこち動く。	野山をありく。 訳：野山を歩き回る。
013 いたく	中心の意味：とても ほか：はなはだしく	程度を強める。「痛く」と決めつけない。	雨、いたく降る。 訳：雨がとても激しく降る。
014 いたづらなり	中心の意味：むなしい ほか：無駄だ・何もすることがない	役に立たず、むだに終わる感じ。現代語のいたずらと区別。	待てど人来ず、いたづらなり。 訳：待っても人は来ず、むなしい。
015 いと	中心の意味：とても ほか：たいそう	程度を強める基本語。「いとど」と区別する。	今日はいと寒し。 訳：今日はとても寒い。
016 いとど	中心の意味：ますます ほか：いっそう	前より程度が強まる。「いと＋さらに」の感じ。	日暮れて、いとど寒し。 訳：日が暮れて、ますます寒い。
017 いとほし	中心の意味：かわいそうだ ほか：いとしい・かわいい	相手の苦しさを見て、気の毒に思う。	独り泣く子、いとほし。 訳：独りで泣く子が、かわいそうだ。
018 いとま	中心の意味：暇 ほか：休み・別れ	仕事などから離れた時間。別れを告げる場合もある。	いとまを得て休む。 訳：暇を得て休む。
019 いぬ（往ぬ）	中心の意味：去る ほか：行ってしまう・死ぬ	「行ってしまう」が基本。打消しの「ぬ」ではない。	客は家よりいぬ。 訳：客は家から去る。
020 いふかひなし	中心の意味：言ってもしかたがない ほか：どうしようもない	言葉にしても、もう取り返しがつかない。	今さら悔ゆるも、いふかひなし。 訳：今さら悔やんでも、言ってもしかたがない。

確認 □ 意味を声に出した □ 例文を読んだ □ 右側を隠して意味を言えた

1日目　意味を選ぶ20問

中心の意味に合う記号を１つ○で囲もう。一覧を見てもよい。

01 ありがたし

ア 寒い イ ありふれている ウ めずらしい エ 騒がしい

02 いたづらなり

ア むなしい イ にぎやかだ ウ 確かだ エ 特別だ

03 いふかひなし

ア 言ってもしかたがない イ 聞きたい ウ 言葉巧みだ エ 言うまでもない

04 あからさまなり

ア 秘密だ イ 一時的だ ウ 露骨だ エ 長く続く

05 あく（飽く）

ア 満足する イ 眠る ウ 忘れる エ 急ぐ

06 あまた

ア 静かに イ 突然 ウ 少し エ たくさん

07 ありく

ア 座りこむ イ 見上げる ウ 眠りこむ エ 歩き回る

08 いとど

ア 突然 イ ほんの少し ウ わざわざ エ ますます

09 いとほし

ア 珍しい イ かわいそうだ ウ 腹立たしい エ おそろしい

10 あさまし

ア 懐かしい イ 誇らしい ウ 驚きあきれる エ 落ち着いている

11 あやし

ア 退屈だ イ 不思議だ ウ 高貴だ エ 楽しい

12 あだなり

ア はかない イ 丈夫だ ウ にぎやかだ エ 高貴だ

13 あふ

ア 追いかける イ 会う ウ 見送る エ 忘れる

14 いたく

ア とても イ そっと ウ だんだん エ 少し

15 いと

ア 少し イ かえって ウ とても エ すぐに

16 いとま

ア 理由 イ 命 ウ 手紙 エ 暇

17 あたらし

ア 退屈だ イ 寒い ウ 惜しい エ 恐ろしい

18 あはれ

ア 大きな音 イ 激しい怒り ウ しみじみとした趣 エ 深い眠り

19 あながちなり

ア 一時的だ イ 強引だ ウ 静かだ エ 順調だ

20 いぬ（往ぬ）

ア 眠る イ 答える ウ 訪れる エ 去る

正答数 ____／20 間違えた語の番号：_____

1日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

01 この花の散るは、<u>あたらし</u>。

ア 退屈だ イ 恐ろしい ウ 寒い エ 惜しい

02 今さら悔ゆるも、<u>いふかひなし</u>。

ア 言うまでもない イ 聞きたい ウ 言葉巧みだ エ 言ってもしかたがない

03 客は家より<u>いぬ</u>。

ア 去る イ 訪れる ウ 眠る エ 答える

04 <u>あからさまに</u>家に帰る。

ア はっきりと イ ほんのしばらく ウ 長い間 エ ひそかに

05 花はすぐ散りて、<u>あだなり</u>。

ア 丈夫だ イ 高貴だ ウ はかない エ にぎやかだ

06 待てど人来ず、<u>いたづらなり</u>。

ア むなしい イ 特別だ ウ 確かだ エ にぎやかだ

07 宝を盗むとは、<u>あさまし</u>。

ア 落ち着いている イ 懐かしい ウ 誇らしい エ 驚きあきれる

08 秋の夕べは、<u>あはれ</u>なり。

ア しみじみとした趣 イ 大きな音 ウ 深い眠り エ 激しい怒り

09 夜に光る石は、<u>あやし</u>。

ア 高貴だ イ 退屈だ ウ 不思議だ エ 楽しい

10 野山を<u>ありく</u>。

ア 見上げる イ 歩き回る ウ 眠りこむ エ 座りこむ

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

1日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

11 星、<u>あまた</u>見ゆ。

ア 少し イ たくさん ウ 静かに エ 突然

12 道にて友に<u>あふ</u>。

ア 忘れる イ 会う ウ 見送る エ 追いかける

13 今日は<u>いと</u>寒し。

ア とても イ 少し ウ すぐに エ かえって

14 百年に一度の花は、<u>ありがたし</u>。

ア 騒がしい イ めずらしい ウ 寒い エ ありふれている

15 花を見て、心<u>あく</u>。

ア 急ぐ イ 忘れる ウ 満足する エ 眠る

16 <u>いとま</u>を得て休む。

ア 手紙 イ 理由 ウ 暇 エ 命

17 独り泣く子、<u>いとほし</u>。

ア 腹立たしい イ おそろしい ウ 珍しい エ かわいそうだ

18 嫌がる人を<u>あながちに</u>誘ふ。

ア 一時的に イ 静かに ウ 無理やり エ 順番に

19 雨、<u>いたく</u>降る。

ア とても イ だんだん ウ そっと エ 少し

20 日暮れて、<u>いとど</u>寒し。

ア わざわざ イ 突然 ウ ほんの少し エ ますます

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

1日目　意味を書くテスト

範囲 001〜020 | 20問・各５点・100点満点 | 目安10分

氏名 _____ 日付 ____月____日 得点 ____／100

一覧・解答を閉じて、下線部の意味を１つ書こう。例文に合う言い換えも正解。

01 花を見て、心<u>あく</u>。

02 野山を<u>ありく</u>。

03 百年に一度の花は、<u>ありがたし</u>。

04 今日は<u>いと</u>寒し。

05 秋の夕べは、<u>あはれ</u>なり。

06 星、<u>あまた</u>見ゆ。

07 <u>あからさまに</u>家に帰る。

08 客は家より<u>いぬ</u>。

09 嫌がる人を<u>あながちに</u>誘ふ。

10 宝を盗むとは、<u>あさまし</u>。

11 <u>いとま</u>を得て休む。

12 待てど人来ず、<u>いたづらなり</u>。

13 花はすぐ散りて、<u>あだなり</u>。

14 道にて友に<u>あふ</u>。

15 夜に光る石は、<u>あやし</u>。

16 雨、<u>いたく</u>降る。

17 この花の散るは、<u>あたらし</u>。

18 独り泣く子、<u>いとほし</u>。

19 日暮れて、<u>いとど</u>寒し。

20 今さら悔ゆるも、<u>いふかひなし</u>。

解き直し日 ____月____日 もう一度覚える語：_____

2日目　今日の20語

範囲 021〜040 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
021 いみじ	中心の意味：はなはだしい ほか：ひどい・すばらしい	良い方にも悪い方にも、並外れて程度が強い。	風の音、いみじ。 訳：風の音が、はなはだしい。
022 いらふ	中心の意味：答える ほか：返事をする	「いらへ」は返事。質問に応じる動作。	問はれて、いらふ。 訳：尋ねられて、答える。
023 うし	中心の意味：つらい ほか：嫌だ	「憂し」。心が重く、嫌だと感じる。	友との別れは、うし。 訳：友との別れは、つらい。
024 うしろめたし	中心の意味：気がかりだ ほか：心配だ	先のことが気になる。罪悪感だけで考えない。	子を残して行くは、うしろめたし。 訳：子を残して行くのは、心配だ。
025 うす（失す）	中心の意味：消える ほか：亡くなる・死ぬ	目の前からなくなる。人なら死を表すこともある。	朝になりて、星うせぬ。 訳：朝になって、星が消えた。
026 うたてし	中心の意味：嫌だ ほか：つらい・気の毒だ	心が不快になる感じ。「うたて」もあわせて覚える。	人をあざむく心は、うたてし。 訳：人をだます心は、嫌なものだ。
027 うつくし	中心の意味：かわいい ほか：いとしい	小さく愛らしいものを見て感じる気持ち。	幼き子の笑ふ顔、うつくし。 訳：幼い子の笑う顔は、かわいい。
028 うつつ	中心の意味：現実 ほか：正気	夢と対になる。「夢か現実か」と考える。	これは夢か、うつつか。 訳：これは夢か、現実か。
029 おこす	中心の意味：送ってよこす ほか：起こす	手紙や物が「こちらへ届く」場面に注意。	友、文をおこす。 訳：友が手紙を送ってよこす。
030 おこたる	中心の意味：病気がよくなる ほか：怠ける・怠る	病の話では回復の意味。「怠ける」に固定しない。	病、おこたりぬ。 訳：病気がよくなった。

確認 ☐ 意味を声に出した ☐ 例文を読んだ ☐ 右側を隠して意味を言えた

2日目　今日の20語

範囲 021〜040 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
031 おどろく	中心の意味：目を覚ます ほか：気づく・驚く	眠りや、ぼんやりした状態から、はっとする。	眠りより<u>おどろく</u>。 訳：眠りから目を覚ます。
032 おぼつかなし	中心の意味：はっきりしない ほか：気がかりだ・不安だ	よく分からないため、気持ちが落ち着かない。	霧深く、道<u>おぼつかなし</u>。 訳：霧が深く、道がはっきりしない。
033 おぼゆ	中心の意味：思われる ほか：感じられる・思い出す・似る	考えや気持ちが自然に浮かぶ。「おぼす」と区別。	ふるさと恋しく<u>おぼゆ</u>。 訳：ふるさとが恋しく思われる。
034 おもしろし	中心の意味：趣深い ほか：楽しい・すばらしい・珍しい	心をひかれるよさ。笑えることに限らない。	秋の山の色、<u>おもしろし</u>。 訳：秋の山の色は、趣深い。
035 おろかなり	中心の意味：おろそかだ ほか：いい加減だ・劣っている	十分でない、という感じ。「をこなり」と区別する。	学問を<u>おろかに</u>す。 訳：学問をおろそかにする。
036 かしこし	中心の意味：恐れ多い ほか：すぐれている・賢い	力ある人への畏れにも使う。文脈に合う意味を選ぶ。	帝の前に出づるは、<u>かしこし</u>。 訳：帝の前に出るのは、恐れ多い。
037 かたじけなし	中心の意味：ありがたい ほか：恐れ多い	厚意を受けて、恐縮し、感謝する気持ち。	助けを受けて、<u>かたじけなし</u>。 訳：助けを受けて、ありがたい。
038 かたち	中心の意味：顔立ち ほか：姿・形	人についてなら、顔の美しさや容姿を考える。	姫の<u>かたち</u>、めでたし。 訳：姫の顔立ちは、すばらしい。
039 かたはら	中心の意味：そば ほか：周り	「傍ら」。場所を表す言葉。	母の<u>かたはら</u>に座る。 訳：母のそばに座る。
040 かたへ	中心の意味：片方 ほか：一部・そば	「片方」を手がかりに、一部分を思い浮かべる。	二つの餅の<u>かたへ</u>を食ふ。 訳：二つの餅の片方を食べる。

確認 ☐ 意味を声に出した ☐ 例文を読んだ ☐ 右側を隠して意味を言えた

2日目　意味を選ぶ20問

中心の意味に合う記号を１つ○で囲もう。一覧を見てもよい。

01 かたへ
ア 全部 イ 片方 ウ 真ん中 エ 表面

02 うしろめたし
ア 安心だ イ 気がかりだ ウ めずらしい エ 誇らしい

03 うつくし
ア 大きい イ 恐ろしい ウ 悲しい エ かわいい

04 おこたる
ア 眠りこむ イ 怒り出す ウ 病気がよくなる エ 病気が悪くなる

05 うす（失す）
ア 近づく イ 現れる ウ 輝く エ 消える

06 かたち
ア 顔立ち イ 気持ち ウ 声 エ 家柄

07 おもしろし
ア 趣深い イ 汚い ウ 恐ろしい エ むなしい

08 おぼつかなし
ア ありがたい イ にぎやかだ ウ はっきりしない エ 明るい

09 おどろく
ア 寝つく イ 忘れる ウ あきらめる エ 目を覚ます

10 かしこし
ア 恐れ多い イ 退屈だ ウ 騒がしい エ 不誠実だ

11 うつつ
ア 理由 イ 現実 ウ 暇 エ 手紙

12 かたはら
ア 向こう岸 イ 遠く ウ そば エ 心の中

13 いみじ
ア はなはだしい イ ゆっくりだ ウ 弱々しい エ 珍しい

14 いらふ
ア 誘う イ 答える ウ 怒る エ 去る

15 おこす
ア 捨てる イ 書き直す ウ 送ってよこす エ 隠す

16 うたてし
ア 楽しい イ 嫌だ ウ 涼しい エ 愛らしい

17 うし
ア 楽しい イ 美しい ウ つらい エ 忙しい

18 おぼゆ
ア 命じられる イ 隠される ウ 忘れられる エ 思われる

19 かたじけなし
ア 危うい イ 腹立たしい ウ 物足りない エ ありがたい

20 おろかなり
ア おろそかだ イ 熱心だ ウ 正確だ エ ていねいだ

正答数 ____／20 間違えた語の番号：_____

2日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

01 助けを受けて、<u>かたじけなし</u>。

ア 物足りない イ 危うい ウ ありがたい エ 腹立たしい

02 人をあざむく心は、<u>うたてし</u>。

ア 涼しい イ 楽しい ウ 愛らしい エ 嫌だ

03 姫の<u>かたち</u>、めでたし。

ア 気持ち イ 顔立ち ウ 家柄 エ 声

04 秋の山の色、<u>おもしろし</u>。

ア 汚い イ むなしい ウ 恐ろしい エ 趣深い

05 子を残して行くは、<u>うしろめたし</u>。

ア 安心だ イ 誇らしい ウ めずらしい エ 心配だ

06 幼き子の笑ふ顔、<u>うつくし</u>。

ア 大きい イ かわいい ウ 悲しい エ 恐ろしい

07 ふるさと恋しく<u>おぼゆ</u>。

ア 命じられる イ 隠される ウ 思われる エ 忘れられる

08 朝になりて、星<u>うせ</u>ぬ。

ア 輝く イ 消える ウ 現れる エ 近づく

09 帝の前に出づるは、<u>かしこし</u>。

ア 恐れ多い イ 不誠実だ ウ 退屈だ エ 騒がしい

10 学問を<u>おろかに</u>す。

ア わざわざ イ おろそかに ウ 熱心に エ 静かに

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

2日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

11 友との別れは、うし。

ア 忙しい イ 楽しい ウ つらい エ 美しい

12 友、文をおこす。

ア 隠す イ 書き直す ウ 送ってよこす エ 捨てる

13 眠りよりおどろく。

ア 目を覚ます イ 忘れる ウ 寝つく エ あきらめる

14 母のかたはらに座る。

ア 遠く イ 向こう岸 ウ そば エ 心の中

15 霧深く、道おぼつかなし。

ア はっきりしない イ 明るい ウ にぎやかだ エ ありがたい

16 風の音、いみじ。

ア はなはだしい イ 珍しい ウ ゆっくりだ エ 弱々しい

17 病、おこたりぬ。

ア 病気が悪くなる イ 病気がよくなる ウ 怒り出す エ 眠りこむ

18 問はれて、いらふ。

ア 去る イ 誘う ウ 怒る エ 答える

19 これは夢か、うつつか。

ア 理由 イ 暇 ウ 手紙 エ 現実

20 二つの餅のかたへを食ふ。

ア 片方 イ 表面 ウ 真ん中 エ 全部

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

2日目　意味を書くテスト

範囲 021〜040 | 20問・各５点・100点満点 | 目安10分

氏名 _____ 日付 ____月____日 得点 ____／100

一覧・解答を閉じて、下線部の意味を１つ書こう。例文に合う言い換えも正解。

01 友との別れは、うし。

02 学問をおろかにす。

03 帝の前に出づるは、かしこし。

04 母のかたはらに座る。

05 友、文をおこす。

06 助けを受けて、かたじけなし。

07 秋の山の色、おもしろし。

08 朝になりて、星うせぬ。

09 霧深く、道おぼつかなし。

10 問はれて、いらふ。

11 病、おこたりぬ。

12 眠りよりおどろく。

13 ふるさと恋しくおぼゆ。

14 二つの餅のかたへを食ふ。

15 風の音、いみじ。

16 姫のかたち、めでたし。

17 これは夢か、うつつか。

18 子を残して行くは、うしろめたし。

19 幼き子の笑ふ顔、うつくし。

20 人をあざむく心は、うたてし。

解き直し日 ____月____日 もう一度覚える語：_____

3日目　今日の20語

範囲 041〜060 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
041 ぐす（具す）	中心の意味：連れる ほか：伴う・備える	人や物を一緒に伴っていく。	弟をぐして山へ行く。 訳：弟を連れて山へ行く。
042 くちをし	中心の意味：残念だ ほか：がっかりだ	思いどおりにならず、落胆する気持ち。	月を見られず、くちをし。 訳：月を見ることができず、残念だ。
043 けしき	中心の意味：様子 ほか：ありさま・表情	風景だけでなく、人の様子や表情にも使う。	母のけしきをうかがふ。 訳：母の様子をうかがう。
044 げに	中心の意味：本当に ほか：なるほど・まことに	「なるほど、その通り」と認める気持ち。	うはさの花は、げにめでたし。 訳：うわさの花は、本当にすばらしい。
045 こころう（心得）	中心の意味：理解する ほか：引き受ける・承知する	心に内容を取り入れる。「心得る」につながる。	言葉の意味をこころう。 訳：言葉の意味を理解する。
046 こころもとなし	中心の意味：待ち遠しい ほか：気がかりだ・不安だ	待っても届かず、心が落ち着かない。	友の来る日、こころもとなし。 訳：友が来る日が、待ち遠しい。
047 〜ごと	中心の意味：毎〜 ほか：それぞれ	「年ごとに」なら毎年。「〜ごろ」と区別。	年ごとに花を見る。 訳：毎年、花を見る。
048 ことに	中心の意味：特に ほか：とりわけ	「殊に」。ほかのものより目立つ。	この花は、ことにめでたし。 訳：この花は、特にすばらしい。
049 ことわり（理）	中心の意味：道理 ほか：理由・当然のこと	物事の筋道。「断ること」ではない。	世のことわりを学ぶ。 訳：世の中の道理を学ぶ。
050 〜ごろ	中心の意味：長〜・数〜 ほか：期間の長さを表す	「年ごろ」なら長年。「年ごと」と比べて覚える。	年ごろ、ここに住む。 訳：長年、ここに住んでいる。

確認 □ 意味を声に出した □ 例文を読んだ □ 右側を隠して意味を言えた

3日目　今日の20語

範囲 041〜060 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
051 さうざうし	中心の意味：心寂しい ほか：物足りない	読みは「そうぞうし」。騒がしい、とは逆方向。	友も帰りて、さうざうし。 訳：友も帰ってしまい、心寂しい。
052 さらなり	中心の意味：言うまでもない ほか：もちろんだ	「言ふもさらなり」の形で覚えるとよい。	花のめでたさは、言ふもさらなり。 訳：花のすばらしさは、言うまでもない。
053 したたむ	中心の意味：準備する ほか：処理する・整える・書く	物事をきちんと整える。手紙を書く場合にも使う。	旅の支度をしたたむ。 訳：旅の支度を整える。
054 しるし	中心の意味：効き目 ほか：前ぶれ・証拠	薬なら効果。形容詞「しるし」とは別の見出し。	薬のしるしあり。 訳：薬の効き目がある。
055 〜すがら	中心の意味：〜の間ずっと ほか：〜の途中	「よもすがら」＝一晩中、で覚える。	夜もすがら月を見る。 訳：一晩中、月を見る。
056 すさまじ	中心の意味：寒々しい ほか：殺風景だ・興ざめだ	現代語の「ものすごい」とは違う場面が多い。	花もなき冬の庭は、すさまじ。 訳：花もない冬の庭は、寒々しい。
057 せうそこ（消息）	中心の意味：手紙 ほか：便り・知らせ	読みは「しょうそこ」。人から届く知らせ。	友よりせうそこ来たり。 訳：友から手紙が来た。
058 せうと	中心の意味：兄・弟 ほか：男性のきょうだい	読みは「しょうと」。特に女性からみた男のきょうだい。	女はせうとを待つ。 訳：女は男のきょうだいを待つ。
059 せめて	中心の意味：無理に ほか：強いて・切実に	力をこめて押し進める。「最低限でも」に固定しない。	行かぬ人を、せめて誘ふ。 訳：行かない人を、無理に誘う。
060 そらごと	中心の意味：うそ ほか：事実でない話	「そら」は本当でない感じ。「まこと」と対にする。	まことならず、そらごとなり。 訳：本当ではなく、うそだ。

確認 □ 意味を声に出した □ 例文を読んだ □ 右側を隠して意味を言えた

3日目　意味を選ぶ20問

中心の意味に合う記号を１つ○で囲もう。一覧を見てもよい。

01 せうそこ（消息）
ア 手紙 イ 食べ物 ウ 迎えの車 エ 休み

02 せめて
ア ときどき イ 無理に ウ 順番に エ そっと

03 さらなり
ア 言いにくい イ 言ってもしかたがない ウ 言うまでもない エ 言葉が足りない

04 ことわり（理）
ア 約束 イ 道理 ウ うそ エ 手紙

05 くちをし
ア ありがたい イ 楽しい ウ 寒い エ 残念だ

06 ことに
ア むしろ イ すぐに ウ 少しも エ 特に

07 しるし
ア 値段 イ 形 ウ 効き目 エ 色

08 〜ごろ
ア 一晩中 イ 明日 ウ 長〜・数〜 エ 毎年

09 すさまじ
ア 高貴だ イ 寒々しい ウ 華やかだ エ かわいい

10 そらごと
ア 道理 イ うそ ウ 約束 エ 証拠

11 せうと
ア 子・孫 イ 父・母 ウ 主人・家来 エ 兄・弟

12 ぐす（具す）
ア 待つ イ 忘れる ウ ほめる エ 連れる

13 〜ごと
ア 突然 イ 一度だけ ウ 毎〜 エ 長年

14 〜すがら
ア 昼の間だけ イ 〜の間ずっと ウ 夜明けだけ エ 一瞬だけ

15 けしき
ア 様子 イ 手紙 ウ 名前 エ 年齢

16 こころう（心得）
ア 隠す イ 忘れる ウ 疑う エ 理解する

17 こころもとなし
ア 待ち遠しい イ うるさい ウ 恐れ多い エ むなしい

18 げに
ア かえって イ 突然 ウ 本当に エ 少しだけ

19 さうざうし
ア 心寂しい イ 心強い ウ 恐れ多い エ にぎやかだ

20 したたむ
ア 準備する イ 捨てる ウ 遅らせる エ 忘れる

正答数 ____／20　間違えた語の番号：_____

3日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

01 友の来る日、こころもとなし。

ア 待ち遠しい イ 恐れ多い ウ うるさい エ むなしい

02 月を見られず、くちをし。

ア 寒い イ ありがたい ウ 残念だ エ 楽しい

03 まことならず、そらごとなり。

ア うそ イ 道理 ウ 約束 エ 証拠

04 弟をぐして山へ行く。

ア 忘れて イ ほめて ウ 待って エ 連れる

05 旅の支度をしたたむ。

ア 捨てる イ 整える ウ 遅らせる エ 忘れる

06 友も帰りて、さうざうし。

ア 心強い イ 恐れ多い ウ にぎやかだ エ 心寂しい

07 うはさの花は、げにめでたし。

ア 突然 イ かえって ウ 本当に エ 少しだけ

08 花のめでたさは、言ふもさらなり。

ア 言ってもしかたがない イ 言いにくい ウ 言うまでもない エ 言葉が足りない

09 行かぬ人を、せめて誘ふ。

ア 順番に イ ときどき ウ 無理に エ そっと

10 この花は、ことにめでたし。

ア すぐに イ 特に ウ 少しも エ むしろ

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

3日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

11 言葉の意味をこころう。

ア 隠す イ 理解する ウ 忘れる エ 疑う

12 年ごとに花を見る。

ア 毎〜 イ 突然 ウ 長年 エ 一度だけ

13 年ごろ、ここに住む。

ア 明日 イ 長〜 ウ 毎年 エ 一晩中

14 花もなき冬の庭は、すさまじ。

ア 華やかだ イ 寒々しい ウ かわいい エ 高貴だ

15 女はせうとを待つ。

ア 子・孫 イ 主人・家来 ウ 父・母 エ 男のきょうだい

16 薬のしるしあり。

ア 色 イ 値段 ウ 効き目 エ 形

17 夜もすがら月を見る。

ア 〜の間ずっと イ 一瞬だけ ウ 昼の間だけ エ 夜明けだけ

18 母のけしきをうかがふ。

ア 年齢 イ 名前 ウ 手紙 エ 様子

19 世のことわりを学ぶ。

ア 道理 イ うそ ウ 手紙 エ 約束

20 友よりせうそこ来たり。

ア 休み イ 迎えの車 ウ 食べ物 エ 手紙

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

3日目　意味を書くテスト

範囲 041〜060 | 20問・各５点・100点満点 | 目安10分

氏名 _____ 日付 ____月____日 得点 ____／100

一覧・解答を閉じて、下線部の意味を１つ書こう。例文に合う言い換えも正解。

01 友の来る日、こころもとなし。

02 友も帰りて、さうざうし。

03 友よりせうそこ来たり。

04 母のけしきをうかがふ。

05 旅の支度をしたたむ。

06 花もなき冬の庭は、すさまじ。

07 女はせうとを待つ。

08 行かぬ人を、せめて誘ふ。

09 薬のしるしあり。

10 この花は、ことにめでたし。

11 うはさの花は、げにめでたし。

12 言葉の意味をこころう。

13 花のめでたさは、言ふもさらなり。

14 まことならず、そらごとなり。

15 弟をぐして山へ行く。

16 年ごろ、ここに住む。

17 月を見られず、くちをし。

18 世のことわりを学ぶ。

19 夜もすがら月を見る。

20 年ごとに花を見る。

解き直し日 ____月____日 もう一度覚える語：_____

4日目　今日の20語

範囲 061〜080 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
061 たのむ	中心の意味：頼りにする ほか：あてにする・頼りにさせる	四段活用は頼りにする。下二段活用は頼りにさせる。	力ある友をたのむ。 訳：力のある友を頼りにする。
062 たまのを（玉緒）	中心の意味：命 ほか：短い時間・ひも	命が続くことを、切れないひもにたとえる。	たまのを絶ゆ。 訳：命が絶える。
063 たより	中心の意味：機会 ほか：頼りになるもの・手段	何かをするきっかけ。「便り＝手紙」だけではない。	京へ行くたよりに友を訪ふ。 訳：京へ行く機会に、友を訪ねる。
064 つきづきし	中心の意味：ふさわしい ほか：ぴったりだ	その場に似合い、しっくりくる感じ。	この色、春の衣につきづきし。 訳：この色は、春の着物にふさわしい。
065 つれづれなり	中心の意味：退屈だ ほか：手持ちぶさただ・寂しい	することもなく、時間をもてあます。	客も来ず、つれづれなり。 訳：客も来ず、退屈だ。
066 ときめく	中心の意味：栄える ほか：寵愛を受ける	勢いがあり、権力者に気に入られている。	宮中にてときめく人あり。 訳：宮中で栄えている人がいる。
067 とく	中心の意味：早く ほか：早くも	「疾く」。時間を早める言葉。	夜明け前にとく起く。 訳：夜明け前に早く起きる。
068 とみなり	中心の意味：急だ ほか：突然だ	「頓」の字。急な変化で、十分な準備がない。	雨、とみに降り出づ。 訳：雨が急に降り出す。
069 なかなか	中心の意味：かえって ほか：中途半端に	予想と反対の結果になるときの「むしろ」。	近道を行けば、なかなか遠し。 訳：近道を行くと、かえって遠い。
070 ながむ	中心の意味：物思いにふける ほか：眺める	ぼんやり見ながら、心の中で思い悩むことも多い。	去りし友を思ひて、ながむ。 訳：去った友を思って、物思いにふける。

確認 ☐ 意味を声に出した ☐ 例文を読んだ ☐ 右側を隠して意味を言えた

4日目　今日の20語

範囲 061〜080 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
071 なほざり	中心の意味：おろそかだ ほか：いい加減だ	大切にせず、きちんと取り組まない。	学問をなほざりにす。 訳：学問をおろそかにする。
072 なむぢ（汝）	中心の意味：おまえ ほか：あなた	相手を指す語。「なんぢ」とも書く。目上には避ける。	なむぢは、いづこへ行く。 訳：あなたは、どこへ行くのか。
073 にはかなり	中心の意味：突然だ ほか：急だ	読みは「にわかなり」。「にわか雨」のにわか。	空、にはかに暗くなる。 訳：空が突然、暗くなる。
074 にほふ	中心の意味：美しく映える ほか：香る	古文では、香りより目に見える美しさにも注目。	朝日に桜の花にほふ。 訳：朝日に桜の花が美しく映える。
075 ねんず（念ず）	中心の意味：我慢する ほか：祈る	苦しさを心の中でこらえる。祈る意味もある。	痛みをねんず。 訳：痛みを我慢する。
076 ののしる	中心の意味：騒ぐ ほか：大声を出す・評判になる	現代語の「悪口を言う」だけで考えない。	人々、声高くののしる。 訳：人々が、大声で騒ぐ。
077 はかる	中心の意味：計画する ほか：相談する・悪だくみをする	考えをめぐらし、物事の進め方を決める。	友と旅をはかる。 訳：友と旅を計画する。
078 はらから	中心の意味：兄弟姉妹 ほか：同じ親から生まれた人	「同胞」と書く。男のきょうだいだけではない。	姉も弟も、我がはらからなり。 訳：姉も弟も、私のきょうだいだ。
079 ふみ（文）	中心の意味：手紙 ほか：書物・漢詩	誰かに送る場面なら、手紙と考える。	母にふみを送る。 訳：母に手紙を送る。
080 ほど（程）	中心の意味：時・ころ ほか：様子・程度・広さ	時間だけでなく、状態や大きさにも使う。	春のほど、都へ行く。 訳：春のころ、都へ行く。

確認 □ 意味を声に出した □ 例文を読んだ □ 右側を隠して意味を言えた

4日目　意味を選ぶ20問

中心の意味に合う記号を１つ○で囲もう。一覧を見てもよい。

01 にはかなり
ア 突然だ イ ゆるやかだ ウ いつもどおりだ エ 特別だ

02 はらから
ア 兄弟姉妹 イ 父母 ウ 友だち エ 家来

03 ののしる
ア 返事を待つ イ ささやく ウ 眠る エ 騒ぐ

04 ふみ（文）
ア 衣服 イ 迎えの人 ウ 食べ物 エ 手紙

05 にほふ
ア 枯れる イ 消える ウ 動き回る エ 美しく映える

06 たまのを（玉緒）
ア 道 イ 命 ウ うわさ エ 手紙

07 とみなり
ア 毎年 イ だんだん ウ 静かに エ 急だ

08 つれづれなり
ア 強引だ イ 忙しい ウ 退屈だ エ 華やかだ

09 なむぢ（汝）
ア おまえ イ あの人 ウ 私 エ 私たち

10 はかる
ア 忘れる イ 計画する ウ 楽しむ エ あきらめる

11 ときめく
ア 落ちぶれる イ 栄える ウ 休む エ 怖がる

12 なほざり
ア 熱心だ イ 高貴だ ウ おろそかだ エ 珍しい

13 たより
ア 暇な人 イ 機会 ウ 名前 エ 景色

14 ながむ
ア 大笑いする イ 歩き回る ウ 物思いにふける エ 眠りこむ

15 ほど（程）
ア 時・ころ イ 方角 ウ 理由 エ 知らせ

16 つきづきし
ア 悲しい イ 恐ろしい ウ ふさわしい エ 疑わしい

17 ねんず（念ず）
ア 喜ぶ イ 忘れる ウ 伝える エ 我慢する

18 とく
ア 遅く イ 早く ウ ときどき エ ゆっくり

19 たのむ
ア 頼りにする イ 疑う ウ 追い払う エ 見捨てる

20 なかなか
ア いつも イ 少しずつ ウ かえって エ わざわざ

正答数 ____／20 間違えた語の番号：_____

4日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

01 痛みを<u>ねんず</u>。

ア 我慢する イ 忘れる ウ 喜ぶ エ 伝える

02 学問を<u>なほざり</u>にす。

ア 高貴だ イ おろそか ウ 珍しい エ 熱心だ

03 客も来ず、<u>つれづれなり</u>。

ア 忙しい イ 強引だ ウ 退屈だ エ 華やかだ

04 雨、<u>とみに</u>降り出づ。

ア だんだん イ 静かに ウ 急に エ 毎年

05 <u>たまのを</u>絶ゆ。

ア うわさ イ 手紙 ウ 道 エ 命

06 母に<u>ふみ</u>を送る。

ア 迎えの人 イ 手紙 ウ 衣服 エ 食べ物

07 朝日に桜の花<u>にほふ</u>。

ア 消える イ 美しく映える ウ 動き回る エ 枯れる

08 この色、春の衣に<u>つきづきし</u>。

ア 恐ろしい イ 悲しい ウ ふさわしい エ 疑わしい

09 姉も弟も、我が<u>はらから</u>なり。

ア 兄弟姉妹 イ 父母 ウ 友だち エ 家来

10 夜明け前に<u>とく</u>起く。

ア 早く イ ゆっくり ウ ときどき エ 遅く

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

4日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

11 去りし友を思ひて、<u>ながむ</u>。

ア 眠りこむ イ 歩き回る ウ 大笑いする エ 物思いにふける

12 春の<u>ほど</u>、都へ行く。

ア 知らせ イ ころ ウ 理由 エ 方角

13 空、<u>にはかに</u>暗くなる。

ア わざわざ イ 毎日 ウ 少しずつ エ 突然

14 近道を行けば、<u>なかなか</u>遠し。

ア かえって イ 少しずつ ウ わざわざ エ いつも

15 宮中にて<u>ときめく</u>人あり。

ア 休む イ 怖がる ウ 栄える エ 落ちぶれる

16 力ある友を<u>たのむ</u>。

ア 追い払う イ 見捨てる ウ 頼りにする エ 疑う

17 人々、声高く<u>ののしる</u>。

ア 騒ぐ イ 眠る ウ 返事を待つ エ ささやく

18 友と旅を<u>はかる</u>。

ア 忘れる イ あきらめる ウ 楽しむ エ 計画する

19 <u>なむぢ</u>は、いづこへ行く。

ア 私 イ 私たち ウ あの人 エ あなた

20 京へ行く<u>たより</u>に友を訪ふ。

ア 景色 イ 機会 ウ 名前 エ 暇な人

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

4日目　意味を書くテスト

範囲 061〜080 | 20問・各５点・100点満点 | 目安10分

氏名 _____ 日付 ____月____日 得点 ____／100

一覧・解答を閉じて、下線部の意味を１つ書こう。例文に合う言い換えも正解。

01 母に<u>ふみ</u>を送る。

02 去りし友を思ひて、<u>ながむ</u>。

03 この色、春の衣に<u>つきづきし</u>。

04 客も来ず、<u>つれづれなり</u>。

05 人々、声高く<u>ののしる</u>。

06 近道を行けば、<u>なかなか</u>遠し。

07 <u>たまのを</u>絶ゆ。

08 朝日に桜の花<u>にほふ</u>。

09 学問を<u>なほざり</u>にす。

10 <u>なむぢ</u>は、いづこへ行く。

11 夜明け前に<u>とく</u>起く。

12 宮中にて<u>ときめく</u>人あり。

13 京へ行く<u>たより</u>に友を訪ふ。

14 空、<u>にはかに</u>暗くなる。

15 力ある友を<u>たのむ</u>。

16 痛みを<u>ねんず</u>。

17 友と旅を<u>はかる</u>。

18 姉も弟も、我が<u>はらから</u>なり。

19 春の<u>ほど</u>、都へ行く。

20 雨、<u>とみに</u>降り出づ。

解き直し日 ____月____日 もう一度覚える語：_____

5日目　今日の20語

範囲 081〜100 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
081 まどふ	中心の意味：迷う ほか：思い悩む・取り乱す	どうすればよいか分からず、心や足が定まらない。	道分かれて、行く先にまどふ。 訳：道が分かれて、行く先に迷う。
082 みゆ（見ゆ）	中心の意味：見える ほか：思われる・結婚する	自然に目に入る。女性が結婚する意味もある。	雲の間より月みゆ。 訳：雲の間から月が見える。
083 むつぶ	中心の意味：親しむ ほか：仲よくする・愛する・戯れる	「むつまじい」とつなげて、仲のよい様子を覚える。	友とむつびて遊ぶ。 訳：友と親しくして遊ぶ。
084 めでたし	中心の意味：すばらしい ほか：見事だ・立派だ	ほめたくなるほどよい。「おめでたい」に限定しない。	月の光、めでたし。 訳：月の光は、すばらしい。
085 やうやう	中心の意味：だんだん ほか：しだいに	読みは「ようよう」。少しずつ変化する。	空、やうやう明るくなる。 訳：空がだんだん明るくなる。
086 やがて	中心の意味：すぐに ほか：そのまま	時間を置かない、状態を変えない。現代語の「そのうち」と区別。	文を読みて、やがて返事を書く。 訳：手紙を読んで、すぐに返事を書く。
087 やむごとなし	中心の意味：高貴だ ほか：特別だ・大切だ	並のものとして扱えないほど、大切な存在。	帝はやむごとなき人なり。 訳：帝は高貴な人だ。
088 やをら	中心の意味：そっと ほか：ゆっくり	読みは「やおら」。静かで穏やかな動き。	眠る子を、やをら抱く。 訳：眠る子を、そっと抱く。
089 ゆかし	中心の意味：心ひかれる ほか：見たい・聞きたい・知りたい	心が対象へ向かい、もっと知りたくなる。	都の話、ゆかし。 訳：都の話を聞きたい。
090 ゆゆし	中心の意味：不吉だ ほか：恐れ多い・すばらしい	よくも悪くも並外れる。場面に合う意味を選ぶ。	悪き夢を見て、ゆゆしと思ふ。 訳：悪い夢を見て、不吉だと思う。

確認 ☐ 意味を声に出した ☐ 例文を読んだ ☐ 右側を隠して意味を言えた

5日目　今日の20語

範囲 081〜100 | 中心の意味 → 例文 → ほかの意味、の順に覚えよう。

番号・古語	現代語訳	ひとこと解説	短い例文と現代語訳
091 ゆゑ（故）	中心の意味：理由 ほか：原因・家柄・由来	物事のもとになること。「なぜ」に答える言葉。	遅れしゆゑを語る。 訳：遅れた理由を話す。
092 よし（由）	中心の意味：旨・こと ほか：風情・由来・理由	伝える内容を示す。「〜とのこと」と置き換える。	明日帰るよしを伝ふ。 訳：明日帰るということを伝える。
093 よろづ	中心の意味：すべて ほか：たくさん・いろいろ	「万」と書く。非常に多く、広くわたる感じ。	よろづのことを知る。 訳：すべてのことを知る。
094 らうたし	中心の意味：かわいい ほか：いとしい	幼い者や弱い者を、守ってあげたい気持ち。	幼き子の笑顔は、らうたし。 訳：幼い子の笑顔は、かわいい。
095 れい（例）	中心の意味：いつも ほか：通常・いつもどおり	「例のごとく」＝いつものように。	れいのごとく、朝早く起く。 訳：いつものように、朝早く起きる。
096 わざと	中心の意味：わざわざ ほか：特別に・故意に	そのために、あえて行う感じ。今回は「わざわざ」。	わざと都より訪ふ。 訳：わざわざ都から訪ねる。
097 わびし	中心の意味：つらい ほか：心細い・がっかりだ	思いどおりにならず、心が苦しい。	独り住む山里は、わびし。 訳：独りで住む山里は、つらい。
098 をかし	中心の意味：趣深い ほか：すばらしい・おもしろい	心をひかれるよさ。現代語の「変だ」に固定しない。	春の山は、をかし。 訳：春の山は、趣深い。
099 をこなり	中心の意味：愚かだ ほか：ばかげている	「痴なり」。怒っている、という意味ではない。	同じ過ちを重ぬるは、をこなり。 訳：同じ過ちを重ねるのは、愚かだ。
100 をり（折）	中心の意味：時 ほか：ころ・季節	何かが起こる、その時。「折々」も覚える。	花咲くをりに来よ。 訳：花が咲く時に来なさい。

確認 ☐ 意味を声に出した ☐ 例文を読んだ ☐ 右側を隠して意味を言えた

5日目　意味を選ぶ20問

中心の意味に合う記号を１つ○で囲もう。一覧を見てもよい。

01 やうやう
ア たちまち イ 突然 ウ そのまま エ だんだん

02 めでたし
ア すばらしい イ 恐ろしい ウ 粗末だ エ 残念だ

03 わざと
ア わざわざ イ ひそかに ウ たまたま エ だんだん

04 れい（例）
ア 突然 イ たまに ウ 特別に エ いつも

05 わびし
ア つらい イ 頼もしい ウ にぎやかだ エ 楽しい

06 らうたし
ア 恐ろしい イ かわいい ウ 不吉だ エ 強引だ

07 まどふ
ア 迷う イ 満足する ウ 答える エ 気づく

08 をかし
ア 粗末だ イ 不吉だ ウ 趣深い エ 不誠実だ

09 ゆゑ（故）
ア 手紙 イ 景色 ウ 時刻 エ 理由

10 やがて
ア 毎年 イ ひそかに ウ すぐに エ 長い間

11 みゆ（見ゆ）
ア 昇る イ 見える ウ 消える エ 隠れる

12 をり（折）
ア 理由 イ 順番 ウ 時 エ 場所

13 ゆかし
ア 恐れ多い イ 心ひかれる ウ 嫌だ エ 気の毒だ

14 よろづ
ア 少しだけ イ すべて ウ 今日だけ エ 一つだけ

15 をこなり
ア 賢い イ 愚かだ ウ 高貴だ エ 心強い

16 むつぶ
ア 疑う イ 争う ウ 離れる エ 親しむ

17 よし（由）
ア 順番 イ 時刻 ウ 旨・こと エ 場所

18 やをら
ア 急に イ 乱暴に ウ 何度も エ そっと

19 ゆゆし
ア 退屈だ イ かわいい ウ 不吉だ エ 懐かしい

20 やむごとなし
ア 高貴だ イ 身分が低い ウ 無責任だ エ 退屈だ

正答数 ____／20 間違えた語の番号：_____

5日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

01 れいのごとく、朝早く起く。

ア 突然 イ 特別に ウ いつも エ たまに

02 友とむつびて遊ぶ。

ア 疑う イ 親しむ ウ 争う エ 離れる

03 花咲くをりに来よ。

ア 場所 イ 理由 ウ 順番 エ 時

04 帝はやむごとなき人なり。

ア 無責任だ イ 高貴だ ウ 退屈だ エ 身分が低い

05 空、やうやう明るくなる。

ア だんだん イ たちまち ウ そのまま エ 突然

06 わざと都より訪ふ。

ア たまたま イ だんだん ウ ひそかに エ わざわざ

07 月の光、めでたし。

ア 恐ろしい イ 粗末だ ウ 残念だ エ すばらしい

08 独り住む山里は、わびし。

ア にぎやかだ イ 楽しい ウ つらい エ 頼もしい

09 文を読みて、やがて返事を書く。

ア ひそかに イ 長い間 ウ すぐに エ 毎年

10 同じ過ちを重ぬるは、をこなり。

ア 賢い イ 高貴だ ウ 心強い エ 愚かだ

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

5日目　例文で確かめる

下線部の意味に合う記号を１つ○で囲もう。活用する前の形で示した選択肢もあります。

11 都の話、ゆかし。

ア 恐れ多い イ 聞きたい ウ 気の毒だ エ 嫌だ

12 春の山は、をかし。

ア 不吉だ イ 粗末だ ウ 趣深い エ 不誠実だ

13 道分かれて、行く先にまどふ。

ア 満足する イ 迷う ウ 答える エ 気づく

14 よろづのことを知る。

ア 少しだけ イ 一つだけ ウ すべて エ 今日だけ

15 眠る子を、やをら抱く。

ア そっと イ 急に ウ 何度も エ 乱暴に

16 悪き夢を見て、ゆゆしと思ふ。

ア 不吉だ イ 懐かしい ウ 退屈だ エ かわいい

17 雲の間より月みゆ。

ア 見える イ 消える ウ 隠れる エ 昇る

18 幼き子の笑顔は、らうたし。

ア 恐ろしい イ かわいい ウ 強引だ エ 不吉だ

19 明日帰るよしを伝ふ。

ア 時刻 イ 順番 ウ 場所 エ こと

20 遅れしゆゑを語る。

ア 理由 イ 景色 ウ 手紙 エ 時刻

確認 □ 正解の意味を声に出した □ 間違えた語を一覧で確認した

5日目　意味を書くテスト

範囲 081〜100 | 20問・各５点・100点満点 | 目安10分

氏名 _____ 日付 ____月____日 得点 ____／100

一覧・解答を閉じて、下線部の意味を１つ書こう。例文に合う言い換えも正解。

01 空、やうやう明るくなる。

02 雲の間より月みゆ。

03 帝はやむごとなき人なり。

04 独り住む山里は、わびし。

05 明日帰るよしを伝ふ。

06 遅れしゆゑを語る。

07 道分かれて、行く先にまどふ。

08 幼き子の笑顔は、らうたし。

09 文を読みて、やがて返事を書く。

10 わざと都より訪ふ。

11 同じ過ちを重ぬるは、をこなり。

12 友とむつびて遊ぶ。

13 れいのごとく、朝早く起く。

14 月の光、めでたし。

15 花咲くをりに来よ。

16 悪き夢を見て、ゆゆしと思ふ。

17 春の山は、をかし。

18 眠る子を、やをら抱く。

19 よろづのことを知る。

20 都の話、ゆかし。

解き直し日 ____月____日 もう一度覚える語：_____

覚えた意味を、確かめよう

この冊子の見方

各日の前半ページ：ドリルＡ・Ｂの正答記号と意味。
各日の後半ページ：記述テストの正答と、認められる言い換え。
例文の全訳・語句の解説は、生徒用の単語一覧にあります。

チェックテストの採点

各問５点・20問で100点満点。例文の意味に合っていれば、表現が模範解答と同じでなくても正解です。「消え」でも「消える」でもよいなど、活用の違いでは減点しません。

言い換えが正しく意味を示していれば５点。中心の意味を取り違えたもの、文脈に合わない別義、無解答は０点。単語の知識を見るテストなので、送り仮名の軽微な違いだけでは減点しません。

「〜ごと」「〜ごろ」「〜すがら」は、「年ごと＝毎年」「年ごろ＝長年」「夜もすがら＝一晩中」というまとまり全体の訳でも正解です。

学習を進める目安

段階	取り組み方
一覧	中心の意味を声に出し、例文と訳を対応させる。
ドリルＡ	一覧を見てもよい。正解の意味を口でも言う。
ドリルＢ	できるだけ一覧を閉じ、例文の中で思い出す。
テスト	解説を閉じて記述。採点後は必ず解き直す。

同じ20語を、順番を替えて繰り返し出題しています。選択肢の正答位置は各日・各ドリルでア〜エが５問ずつになるよう分散しています。

1日目　４択ドリルの解答

記号だけでなく、正解の意味を読み上げよう。（番号）は単語一覧の通し番号。

問	A：記号・意味	B：記号・意味
01	ウ めずらしい (011)	エ 惜しい (005)
02	ア むなしい (014)	エ 言ってもしかたがない (020)
03	ア 言ってもしかたがない (020)	ア 去る (019)
04	イ 一時的だ (001)	イ ほんのしばらく (001)
05	ア 満足する (002)	ウ はかない (004)
06	エ たくさん (009)	ア むなしい (014)
07	エ 歩き回る (012)	エ 驚きあきれる (003)
08	エ ますます (016)	ア しみじみとした趣 (007)
09	イ かわいそうだ (017)	ウ 不思議だ (010)
10	ウ 驚きあきれる (003)	イ 歩き回る (012)
11	イ 不思議だ (010)	イ たくさん (009)
12	ア はかない (004)	イ 会う (008)
13	イ 会う (008)	ア とても (015)
14	ア とても (013)	イ めずらしい (011)
15	ウ とても (015)	ウ 満足する (002)
16	エ 暇 (018)	ウ 暇 (018)
17	ウ 惜しい (005)	エ かわいそうだ (017)
18	ウ しみじみとした趣 (007)	ウ 無理やり (006)
19	イ 強引だ (006)	ア とても (013)
20	エ 去る (019)	エ ますます (016)

覚え分けのポイント

「いと」＝とても／「いとど」＝ますます。「ありがたし」は、まず「めったにない・珍しい」。「いふかひなし」は「言ってもしかたがない」。

1日目　記述テストの解答

各問５点。中心の意味が同じなら、ここにない自然な言い換えも認めます。

問	古語	正答／認められる言い換え
01	あく（飽く）	満足する。別解：心が満たされる／十分に満足する
02	ありく	歩き回る。別解：動き回る／あちこち歩く
03	ありがたし	めずらしい。別解：めったにない
04	いと	とても。別解：たいそう
05	あはれ	しみじみとした趣。別解：しみじみとした感じ／趣深い
06	あまた	たくさん。別解：数多く
07	あからさまなり	ほんのしばらく。別解：一時的に／少しの間
08	いぬ（往ぬ）	去る。別解：行ってしまう
09	あながちなり	無理やり。別解：強引に
10	あさまし	驚きあきれる。別解：情けない／ひどい
11	いとま	暇。別解：休み／自由な時間
12	いたづらなり	むなしい。別解：無駄だ
13	あだなり	はかない。
14	あふ	会う。別解：出会う
15	あやし	不思議だ。別解：変だ／奇妙だ
16	いたく	とても。別解：たいそう／はなはだしく
17	あたらし	惜しい。別解：もったいない
18	いとほし	かわいそうだ。別解：気の毒だ
19	いとど	ますます。別解：いっそう
20	いふかひなし	言ってもしかたがない。別解：どうしようもない

間違えた語は一覧の例文へ戻る → 意味を声に出す → 答えを隠してもう一度書く。

2日目　４択ドリルの解答

記号だけでなく、正解の意味を読み上げよう。（番号）は単語一覧の通し番号。

問	A：記号・意味	B：記号・意味
01	イ 片方 (040)	ウ ありがたい (037)
02	イ 気がかりだ (024)	エ 嫌だ (026)
03	エ かわいい (027)	イ 顔立ち (038)
04	ウ 病気がよくなる (030)	エ 趣深い (034)
05	エ 消える (025)	エ 心配だ (024)
06	ア 顔立ち (038)	イ かわいい (027)
07	ア 趣深い (034)	ウ 思われる (033)
08	ウ はっきりしない (032)	イ 消える (025)
09	エ 目を覚ます (031)	ア 恐れ多い (036)
10	ア 恐れ多い (036)	イ おろそかに (035)
11	イ 現実 (028)	ウ つらい (023)
12	ウ そば (039)	ウ 送ってよこす (029)
13	ア はなはだしい (021)	ア 目を覚ます (031)
14	イ 答える (022)	ウ そば (039)
15	ウ 送ってよこす (029)	ア はっきりしない (032)
16	イ 嫌だ (026)	ア はなはだしい (021)
17	ウ つらい (023)	イ 病気がよくなる (030)
18	エ 思われる (033)	エ 答える (022)
19	エ ありがたい (037)	エ 現実 (028)
20	ア おろそかだ (035)	ア 片方 (040)

覚え分けのポイント

「おこたる」は病気なら「回復する」。「おどろく」は眠りの場面なら「目を覚ます」。「かしこし」は「恐れ多い」もある。「かたはら」＝そば／「かたへ」＝片方。

2日目　記述テストの解答

各問５点。中心の意味が同じなら、ここにない自然な言い換えも認めます。

問	古語	正答／認められる言い換え
01	うし	つらい。別解：嫌だ
02	おろかなり	おろそかに。別解：いい加減に／おろそかにする
03	かしこし	恐れ多い。別解：畏れ多い
04	かたはら	そば。別解：周り
05	おこす	送ってよこす。別解：送ってくる
06	かたじけなし	ありがたい。別解：恐縮だ／恐れ多い
07	おもしろし	趣深い。別解：すばらしい／おもしろい
08	うす（失す）	消える。別解：消える
09	おぼつかなし	はっきりしない。別解：よく分からない
10	いらふ	答える。別解：返事をする
11	おこたる	病気がよくなる。別解：病気がよくなる／回復する／治る
12	おどろく	目を覚ます。別解：眠りから覚める／起きる
13	おぼゆ	思われる。別解：感じられる
14	かたへ	片方。別解：一方／一つ
15	いみじ	はなはだしい。別解：激しい／ひどい
16	かたち	顔立ち。別解：容姿
17	うつつ	現実。別解：現実のこと
18	うしろめたし	心配だ。別解：気がかりだ
19	うつくし	かわいい。別解：愛らしい／いとしい
20	うたてし	嫌だ。別解：不快だ

間違えた語は一覧の例文へ戻る → 意味を声に出す → 答えを隠してもう一度書く。

3日目　４択ドリルの解答

記号だけでなく、正解の意味を読み上げよう。（番号）は単語一覧の通し番号。

問	A：記号・意味	B：記号・意味
01	ア 手紙 (057)	ア 待ち遠しい (046)
02	イ 無理に (059)	ウ 残念だ (042)
03	ウ 言うまでもない (052)	ア うそ (060)
04	イ 道理 (049)	エ 連れる (041)
05	エ 残念だ (042)	イ 整える (053)
06	エ 特に (048)	エ 心寂しい (051)
07	ウ 効き目 (054)	ウ 本当に (044)
08	ウ 長〜・数〜 (050)	ウ 言うまでもない (052)
09	イ 寒々しい (056)	ウ 無理に (059)
10	イ うそ (060)	イ 特に (048)
11	エ 兄・弟 (058)	イ 理解する (045)
12	エ 連れる (041)	ア 毎〜 (047)
13	ウ 毎〜 (047)	イ 長〜 (050)
14	イ 〜の間ずっと (055)	イ 寒々しい (056)
15	ア 様子 (043)	エ 男のきょうだい (058)
16	エ 理解する (045)	ウ 効き目 (054)
17	ア 待ち遠しい (046)	ア 〜の間ずっと (055)
18	ウ 本当に (044)	エ 様子 (043)
19	ア 心寂しい (051)	ア 道理 (049)
20	ア 準備する (053)	エ 手紙 (057)

覚え分けのポイント

「年ごと」＝毎年／「年ごろ」＝長年。「夜もすがら」＝一晩中。「さらなり」＝言うまでもない。「せうと」は男のきょうだい。

3日目　記述テストの解答

各問５点。中心の意味が同じなら、ここにない自然な言い換えも認めます。

問	古語	正答／認められる言い換え
01	こころもとなし	待ち遠しい。別解：気がかりだ／待ち遠しく落ち着かない
02	さうざうし	心寂しい。別解：物足りない／寂しい
03	せうそこ（消息）	手紙。別解：便り／知らせ
04	けしき	様子。別解：表情／ありさま
05	したたむ	整える。別解：準備する
06	すさまじ	寒々しい。別解：殺風景だ／興ざめだ
07	せうと	男のきょうだい。別解：兄／弟／男性のきょうだい
08	せめて	無理に。別解：強いて／強引に
09	しるし	効き目。別解：効果
10	ことに	特に。別解：とりわけ
11	げに	本当に。別解：まことに／なるほど
12	こころう（心得）	理解する。別解：分かる
13	さらなり	言うまでもない。別解：もちろんだ
14	そらごと	うそ。別解：事実でない話
15	ぐす（具す）	連れる。別解：連れる／伴う
16	～ごろ	長～。別解：長年／数年来（「年ごろ」の全体訳も可）
17	くちをし	残念だ。別解：がっかりだ
18	ことわり（理）	道理。別解：物事の筋道
19	～すがら	～の間ずっと。別解：一晩中（「夜もすがら」の全体訳も可）
20	～ごと	毎～。別解：毎年（「年ごと」の全体訳も可）

間違えた語は一覧の例文へ戻る → 意味を声に出す → 答えを隠してもう一度書く。

4日目　４択ドリルの解答

記号だけでなく、正解の意味を読み上げよう。（番号）は単語一覧の通し番号。

問	A：記号・意味	B：記号・意味
01	ア 突然だ (073)	ア 我慢する (075)
02	ア 兄弟姉妹 (078)	イ おろそか (071)
03	エ 騒ぐ (076)	ウ 退屈だ (065)
04	エ 手紙 (079)	ウ 急に (068)
05	エ 美しく映える (074)	エ 命 (062)
06	イ 命 (062)	イ 手紙 (079)
07	エ 急だ (068)	イ 美しく映える (074)
08	ウ 退屈だ (065)	ウ ふさわしい (064)
09	ア おまえ (072)	ア 兄弟姉妹 (078)
10	イ 計画する (077)	ア 早く (067)
11	イ 栄える (066)	エ 物思いにふける (070)
12	ウ おろそかだ (071)	イ ころ (080)
13	イ 機会 (063)	エ 突然 (073)
14	ウ 物思いにふける (070)	ア かえって (069)
15	ア 時・ころ (080)	ウ 栄える (066)
16	ウ ふさわしい (064)	ウ 頼りにする (061)
17	エ 我慢する (075)	ア 騒ぐ (076)
18	イ 早く (067)	エ 計画する (077)
19	ア 頼りにする (061)	エ あなた (072)
20	ウ かえって (069)	イ 機会 (063)

覚え分けのポイント

「とみなり」「にはかなり」は急な変化。「ながむ」は物思いにふける意味もある。「せうと」＝男のきょうだい／「はらから」＝兄弟姉妹。

4日目　記述テストの解答

各問５点。中心の意味が同じなら、ここにない自然な言い換えも認めます。

問	古語	正答／認められる言い換え
01	ふみ（文）	手紙。別解：便り
02	ながむ	物思いにふける。別解：物思いをする／思い悩む
03	つきづきし	ふさわしい。別解：似合っている／ぴったりだ
04	つれづれなり	退屈だ。別解：手持ちぶさただ／寂しい
05	ののしる	騒ぐ。別解：大声を出す
06	なかなか	かえって。別解：むしろ
07	たまのを（玉緒）	命。別解：生命
08	にほふ	美しく映える。別解：美しく輝く
09	なほざり	おろそか。別解：いい加減
10	なむぢ（汝）	あなた。別解：おまえ
11	とく	早く。別解：すぐに／早い時刻に
12	ときめく	栄える。別解：勢いがある／寵愛を受ける
13	たより	機会。別解：きっかけ
14	にはかなり	突然。別解：急に
15	たのむ	頼りにする。別解：あてにする／頼る
16	ねんず（念ず）	我慢する。別解：耐える／こらえる
17	はかる	計画する。別解：相談する／企てる
18	はらから	兄弟姉妹。別解：きょうだい
19	ほど（程）	ころ。別解：時／季節
20	とみなり	急に。別解：突然

間違えた語は一覧の例文へ戻る → 意味を声に出す → 答えを隠してもう一度書く。

5日目　４択ドリルの解答

記号だけでなく、正解の意味を読み上げよう。（番号）は単語一覧の通し番号。

問	A：記号・意味	B：記号・意味
01	エ だんだん (085)	ウ いつも (095)
02	ア すばらしい (084)	イ 親しむ (083)
03	ア わざわざ (096)	エ 時 (100)
04	エ いつも (095)	イ 高貴だ (087)
05	ア つらい (097)	ア だんだん (085)
06	イ かわいい (094)	エ わざわざ (096)
07	ア 迷う (081)	エ すばらしい (084)
08	ウ 趣深い (098)	ウ つらい (097)
09	エ 理由 (091)	ウ すぐに (086)
10	ウ すぐに (086)	エ 愚かだ (099)
11	イ 見える (082)	イ 聞きたい (089)
12	ウ 時 (100)	ウ 趣深い (098)
13	イ 心ひかれる (089)	イ 迷う (081)
14	イ すべて (093)	ウ すべて (093)
15	イ 愚かだ (099)	ア そっと (088)
16	エ 親しむ (083)	ア 不吉だ (090)
17	ウ 旨・こと (092)	ア 見える (082)
18	エ そっと (088)	イ かわいい (094)
19	ウ 不吉だ (090)	エ こと (092)
20	ア 高貴だ (087)	ア 理由 (091)

覚え分けのポイント

「やうやう」＝だんだん／「やがて」＝すぐに・そのまま。「ゆゑ」は理由、「よし」は伝える旨・こと。「をかし」は趣深い、「をこなり」は愚かだ。

5日目　記述テストの解答

各問５点。中心の意味が同じなら、ここにない自然な言い換えも認めます。

問	古語	正答／認められる言い換え
01	やうやう	だんだん。別解：しだいに／徐々に
02	みゆ（見ゆ）	見える。別解：目に入る
03	やむごとなし	高貴だ。別解：高貴だ／身分の高い
04	わびし	つらい。別解：心細い／寂しくつらい
05	よし（由）	こと。別解：旨／ということ
06	ゆゑ（故）	理由。別解：原因／わけ
07	まどふ	迷う。別解：思い悩む／途方に暮れる
08	らうたし	かわいい。別解：いとしい／愛らしい
09	やがて	すぐに。別解：そのまま／直ちに
10	わざと	わざわざ。別解：特別に
11	をこなり	愚かだ。別解：ばかげている
12	むつぶ	親しむ。別解：親しむ／仲よくする
13	れい（例）	いつも。別解：いつもどおり／通常
14	めでたし	すばらしい。別解：立派だ／見事だ
15	をり（折）	時。別解：ころ／季節
16	ゆゆし	不吉だ。別解：縁起が悪い／恐ろしい
17	をかし	趣深い。別解：すばらしい／おもしろい
18	やをら	そっと。別解：ゆっくり／静かに
19	よろづ	すべて。別解：いろいろ／たくさん
20	ゆかし	聞きたい。別解：心ひかれる／知りたい

間違えた語は一覧の例文へ戻る → 意味を声に出す → 答えを隠してもう一度書く。

100語を、読む力につなげる

この教材の元資料

提供画像「よく出る古文単語100！（50音順）」の４ページ（掲載ページ328・330・332・334）をもとに、番号と見出し語の配列を維持しています。例文と学習用解説は新たに作成しました。

意味を整理した語

「おぼゆ」は「思われる・感じられる」を中心に示しました。「かしこし」の「賢い」、「わざと」の「故意に」も文脈によって成立するため、一律に誤りとはしていません。今回の例文では、それぞれ指定された意味を練習します。

「なむぢ（汝）」は画像の表記を残し、「なんぢ」の表記も添えました。「たのむ」は四段活用と下二段活用の意味の違いを補足し、今回のテストは「頼りにする」を扱います。

確認に用いた辞書資料

小学館・デジタル大辞泉／精選版 日本国語大辞典「兄人」
https://kotobank.jp/word/兄人-532653

同「あからさま」
https://kotobank.jp/word/あからさま-422895

同「賢い」「頼む」
https://kotobank.jp/word/賢い-462027
https://kotobank.jp/word/頼む-562131

同「見える」「美しい」
https://kotobank.jp/word/見える-635716
https://kotobank.jp/word/美しい-440756

小学館・全文全訳古語辞典「まどふ」（ジャパンナレッジ）
https://japanknowledge.com/introduction/keyword.html?i=1749

確認日：2026年10月9日。例文は、意味を思い出しやすい短さを優先した教材用の創作です。語のすべての用法を網羅した辞書ではありません。